

第 9 6 回

神戸市上下水道事業審議会資料

目 次

【水道事業】

- 1 令和元年度 神戸市水道事業会計決算の概要・・・・・・・・・・資料 1
- 2 中期経営計画2019の実績について・・・・・・・・・・資料 2
- 3 新型コロナウイルス感染症の水道事業への影響について・・・・・・・・・・資料 3

【下水道事業】

- 4 令和元年度 神戸市下水道事業会計決算の概要・・・・・・・・・・資料 4
- 5 「こうべアクアプラン2020」進捗状況について・・・・・・・・・・資料 5
- 6 新型コロナウイルス感染症の下水道事業への影響について・・・・・・・・・・資料 6

【参考】

- 令和元年度 神戸市水道事業会計決算説明書
令和元年度 神戸市下水道事業会計決算説明書

令和元年度 水道事業会計決算の概要

資料1

(1) 経営収支 (税抜額)

(単位：億円)

項目	区分	令和元年度 決算 (1)	平成30年度 決算 (2)	対前年度決算		主な増減理由
				差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100	
収 益	給水収益	295.9	299.5	▲ 3.6	▲ 1.2	有収水量の減
	分担金	4.2	4.0	0.2	5.0	
	基金からの繰入金	3.0	3.0	-	-	
	受取利息	1.5	1.5	0.0	0.0	
	一般会計繰入金 (阪水分)	0.1	0.2	▲ 0.1	▲ 50.0	
	長期前受金戻入	30.8	31.1	▲ 0.3	▲ 1.0	
	その他収益	19.4	22.7	▲ 3.3	▲ 14.5	受託工事収益の減
	特別利益	0.1	1.8	▲ 1.7	▲ 94.4	
	合計(A)	355.0	363.8	▲ 8.8	▲ 2.4	
費 用	人件費	55.1	59.3	▲ 4.2	▲ 7.1	人員の減
	受水費	109.8	109.4	0.4	0.4	
	物件費	46.4	46.2	0.2	0.4	
	減価償却費等	106.0	104.7	1.3	1.2	減価償却費の増
	支払利息	5.4	5.8	▲ 0.4	▲ 6.9	
	繰出金 (阪水分)	0.1	0.2	▲ 0.1	▲ 50.0	
	その他費用	1.1	5.3	▲ 4.2	▲ 79.2	受託工事費の減
合計(B)	323.9	330.9	▲ 7.0	▲ 2.1		
当年度損益 (C)=(A)-(B)		31.1	32.9	▲ 1.8	-	
前年度繰越利益剰余金 (D)		42.4	42.4	-	-	
利益処分 (資本金組入、建設改良積立金) (E)		▲ 31.1	▲ 32.9	-	-	
翌年度繰越利益剰余金 (F)=(C)+(D)+(E)		42.4	42.4	-	-	

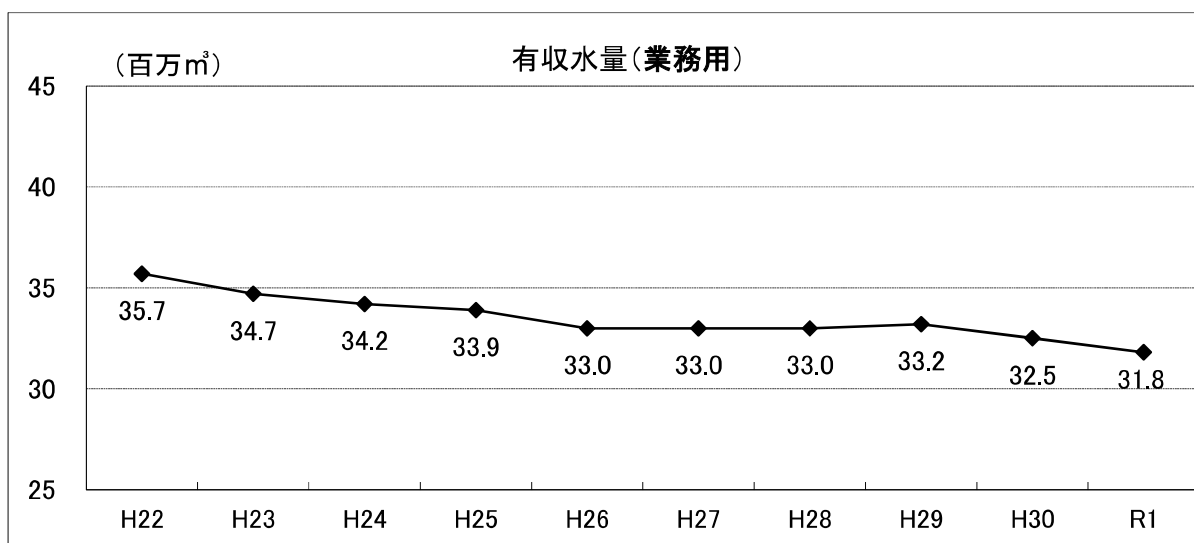
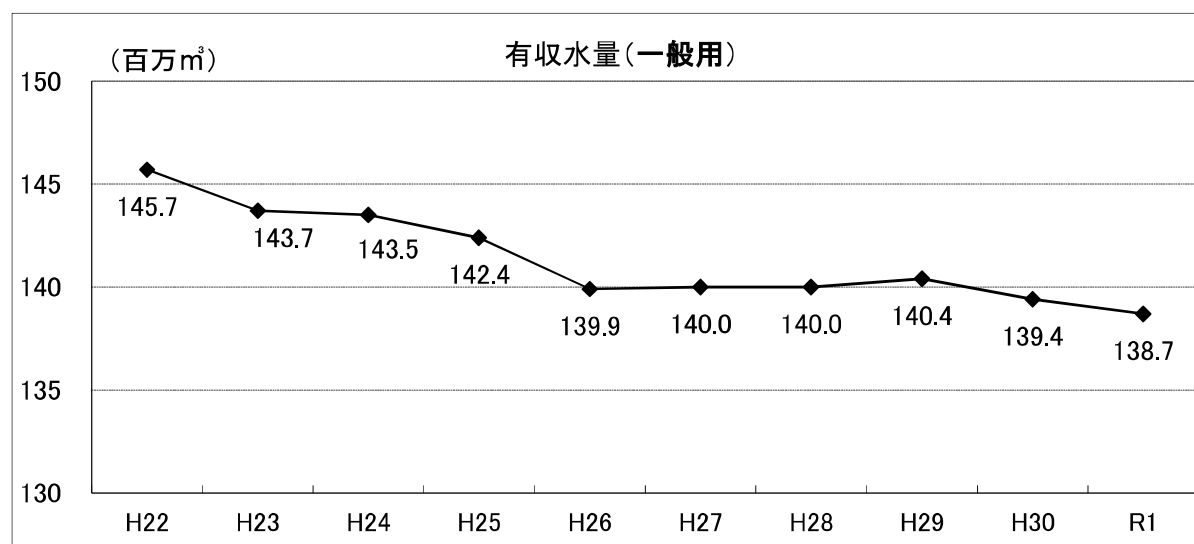
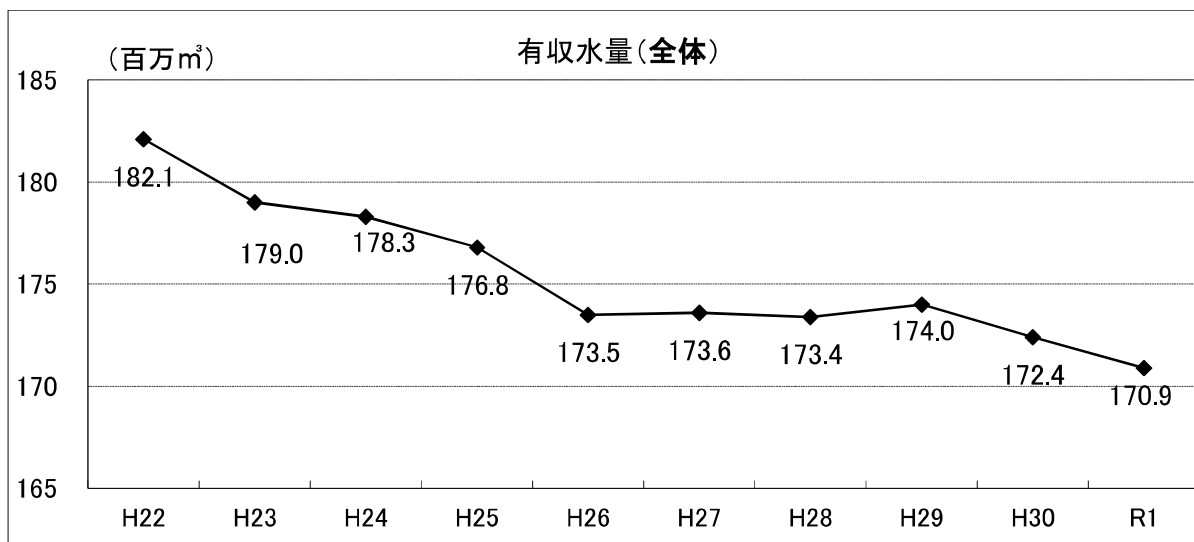
[参考 1]

経営収支（税抜額）〔令和元年度予算・決算比較〕

（単位：億円）

項目	区分	令和元年度 決算 (1)	令和元年度 当初予算 (2)	予算決算対比	主な増減理由
				差引 (3)=(1)-(2)	
収 益	給水収益	295.9	300.7	▲ 4.8	
	分担金	4.2	5.0	▲ 0.8	
	基金からの繰入金	3.0	3.0	-	
	受取利息	1.5	1.4	0.1	
	一般会計繰入金 (阪水分)	0.1	0.1	0.0	
	長期前受金戻入	30.8	28.5	2.3	
	その他収益	19.4	20.7	▲ 1.3	
	特別利益	0.1	0.2	▲ 0.1	
	合計(A)	355.0	359.6	▲ 4.6	
費 用	人件費	55.1	59.5	▲ 4.4	
	受水費	109.8	109.7	0.1	
	物件費	46.4	51.0	▲ 4.6	
	減価償却費等	106.0	103.5	2.5	
	支払利息	5.4	5.4	0.0	
	繰出金 (阪水分)	0.1	0.1	0.0	
	その他費用	1.1	1.9	▲ 0.8	
	合計(B)	323.9	331.1	▲ 7.2	
	当年度損益 (C)=(A)-(B)	31.1	28.5	2.6	

(2)業務量の推移



※ 有収水量(全体)には、一般用、業務用のほかに、公衆浴場用等を含んでいる。

(3) 資本的収支 (税込額)

(単位: 億円)

項目	区分	令和元年度 決算 (1)	平成30年度 決算 (2)	対前年度決算	
				差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100
収 入	企業債	-	-	-	-
	工事負担金	1.7	2.9	▲ 1.2	▲ 41.4
	国庫補助金	0.9	0.7	0.2	28.6
	施設増強負担金	-	-	-	-
	基金収入 (基金の運用益)	1.5	1.9	▲ 0.4	▲ 21.1
	基金からの繰入金	9.9	8.2	1.7	20.7
	一般会計繰入金 (阪水分)	1.5	2.2	▲ 0.7	▲ 31.8
	その他	0.1	2.3	▲ 2.2	▲ 95.7
	合計 (A)	15.6	18.2	▲ 2.6	▲ 14.3
支 出	建設改良費	116.1	94.6	21.5	22.7
	基幹施設整備工事費	26.3	20.4	5.9	28.9
	配水管整備増強工事費	63.8	51.5	12.3	23.9
	開発団地等施設等 工事費	26.0	22.7	3.3	14.5
	企業債償還金	17.8	18.1	▲ 0.3	▲ 1.7
	基金への積立	1.6	1.9	▲ 0.3	▲ 15.8
	繰出金 (阪水分)	1.5	2.2	▲ 0.7	▲ 31.8
	その他	-	-	-	-
	合計 (B)	137.0	116.8	20.2	17.3
収支差引(A)-(B)		▲ 121.4	▲ 98.6	▲ 22.8	-

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額121.4億円は、損益勘定留保資金
(当年度の減価償却費など、再投資のために計上している資金)等で補てんした。

[参 考 2]

令和元年度末 神戸市水道事業会計貸借対照表

(単位：百万円)

借 方		貸 方	
資 産 の 部		負 債 の 部	
固 定 資 産 300,833		固 定 負 債 33,152	
有形固定資産 265,012		企 業 債 23,854	
土 地 25,298		引 当 金 7,420	
建 物 21,721		受水費高騰対策勘定 1,878	
構 築 物 418,626		流 動 負 債 9,951	
機 械 及 び 装 置 59,342		企 業 債 1,809	
車 両 運 搬 具 414		未 払 金 3,839	
船 舶 16		前 受 金 1,105	
工 具 器 具 及 び 備 品 2,254		引 当 金 455	
建 設 仮 勘 定 3,150		その他流動負債等 2,743	
減価償却累計額 ▲ 265,809		繰 延 収 益 87,990	
無形固定資産 71		長 期 前 受 金 159,878	
地 上 権 1		長期前受金収益化累計額 ▲ 83,647	
施 設 利 用 権 15		建設仮勘定長期前受金 11,759	
ソ フ ト ウ ェ ア 55		資 本 の 部	
投 資 35,750		資 本 金 151,201	
投 資 有 価 証 券 14,994		自 己 資 本 金 151,201	
出 資 金 1,009		剰 余 金 43,511	
基 金 18,745		資 本 剰 余 金 28,879	
破 産 更 生 債 権 等 75		受 贈 財 産 評 価 額 9,224	
貸 倒 引 当 金 ▲ 75		国 庫 補 助 金 615	
そ の 他 投 資 等 1,002		一 般 会 計 補 助 金 209	
流 動 資 産 24,972		工 事 負 担 金 17,990	
現 金 預 金 17,515		施 設 増 強 負 担 金 等 841	
未 収 金 2,505		利 益 剰 余 金 14,632	
貸 倒 引 当 金 ▲ 1			
有 価 証 券 2,999		建 設 改 良 積 立 金 7,280	
貯 蔵 品 139		未 処 分 利 益 剰 余 金 7,352	
前 払 金 676			
その他流動資産等 1,139			
合 計 325,805		合 計 325,805	

中期経営計画 2019 の実績について

① 総括

「中期経営計画 2019（計画期間：平成 28 年度～令和元年度）」で掲げた具体的施策を着実に実施した結果、計画内容を概ね達成（36 施策のうち 30 施策達成）することができました。

水道施設の経年化や水需要の減少を踏まえ、公民連携手法による上ヶ原浄水場の再整備をはじめ、配水池の統廃合や配水管網再構築計画の策定など、最適な水道システムの再構築に取り組みました。また、水道施設の耐震化や近隣事業体との緊急時連絡管の整備など、多様な災害への備えに取り組みました。

さらに、全センターでの料金収納関連業務の包括委託など事業の効率化・最適化を図るとともに、遊休資産売却などの収入の確保により、経営基盤の強化に取り組みました。また、多様な媒体を活用した広報や、こうべアクアサポーターとの意見交換などを行うことで、水道事業に興味関心をもってもらくとともに、本市水道事業が抱える課題を共有し、市民のみなさまとのコミュニケーションを推進しました。

② 年次計画に数値目標を掲げている具体的施策の実績

年次計画		計画(H28～R1)	実績
第 1 章	ポンプ設備のダウンサイジング	計 42 機	計 37 機
	電力使用量の削減	H31：5,636 万 kWh	5,276 万 kWh
	配水管網再構築計画の策定	計 20 か所	計 20 か所
	配水管の更新ペースアップ	H31：40km/年	R1：34.0km/年 発注延長 40.2km/年
第 2 章	配水池等の耐震化	H31 末：80.5%	R1 末：84.1%
	配水池根元の配水管更新	計 5 か所着手	計 7 か所着手
	送水施設のバックアップ率	H31 末：80%	R1 末：75%
	配水区域間連絡管等整備の検討	計 5 か所	計 5 か所の整備着手
	災害時臨時給水栓の整備	計 19 か所整備	計 28 か所整備
	貯水機能のある災害時給水拠点の再整備	計 9 か所	計 7 か所
第 3 章	土地の売却	計 12 か所	計 12 か所売却 売却益 1,216 百万円
	土地の新規貸付	計 5 か所	計 5 か所 (89 百万円/年)

※売却益は売却額から簿価を控除した額

③ 中期財政計画の実績

人口減少や節水型社会の進展に伴い給水収益が減少するとともに、水道施設の経年化による更新費用が増大する厳しい経営環境の中、維持管理費の削減や資産の有効活用による収入の確保等に努めた結果、中期経営計画期間中において黒字を達成できましたが、長期前受金戻入を除けばほぼ収支均衡でした。

(単位：億円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
収益的収入	370	363	364	355
うち、給水収益	301	303	299	296
収益的支出	326	324	331	324
うち、受水費	112	111	109	110
うち、減価償却費	96	96	102	103
純利益	44	39	33	31
うち、長期前受金戻入相当額	32	31	31	31

(参考) 中期経営計画 2019 の主な具体的施策の実績

【第1章 水道システムの最適化】

施策	計画	実績
上ヶ原浄水場の再整備と受水量の最適化	<ul style="list-style-type: none"> 上ヶ原浄水場再整備の検討 受水量軽減に向けた協議 	<ul style="list-style-type: none"> 上ヶ原浄水場再整備の事業者決定 阪神水道企業団の受水量減 (H29)
自己水源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 布引の水のPR・有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ボトルドウォーターを配布・販売 地ビール、濃縮コーヒー等への利用
千苺貯水池流域の水資源涵養	<ul style="list-style-type: none"> 千苺貯水池における森林保全活動の取組み実施 	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座修了生や水道局等の協働による保全活動の実施
人口減少社会に対応した計画的な更新	<ul style="list-style-type: none"> 水道施設の計画的な更新 配水池の統廃合などダウンサイジングの段階的な実施 	<ul style="list-style-type: none"> アセットマネジメントによる投資計画の見直し 配水池統廃合の方針策定・工事着手
再生可能エネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> マイクロ水力発電の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 送水系統へのマイクロ水力発電導入 減圧弁代替機器の実証実験の実施
サポート体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 修繕窓口のPR強化 修繕に対応できる業者の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 水道修繕受付センターのPR、消費生活センター等と連携した悪質業者の被害防止PR HPに修繕対応可能業者一覧を掲載

【第2章 災害への備え】

施策	計画	実績
津波対策	<ul style="list-style-type: none"> 水管橋の耐震診断 	<ul style="list-style-type: none"> 水管橋の重要路線の抽出、詳細耐震診断、耐震補強の設計業務に着手
バックアップ体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 市街地送水施設の連絡、北神地区送水施設の再整備 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地送水施設の連絡、北神地区送水施設の再整備を推進
緊急時連絡管の整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時連絡管の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 5市1町12か所で緊急時連絡管の整備完了
他都市との広域連携	<ul style="list-style-type: none"> 大都市や県内水道事業体と災害応援訓練を合同で実施 受援体制を強化 	<ul style="list-style-type: none"> 災害応援訓練を毎年度実施、千葉県企業局と災害時相互救援に関する覚書を締結 (H31.1) 「大規模災害時応援事業体用マニュアル」を策定し受援体制を強化

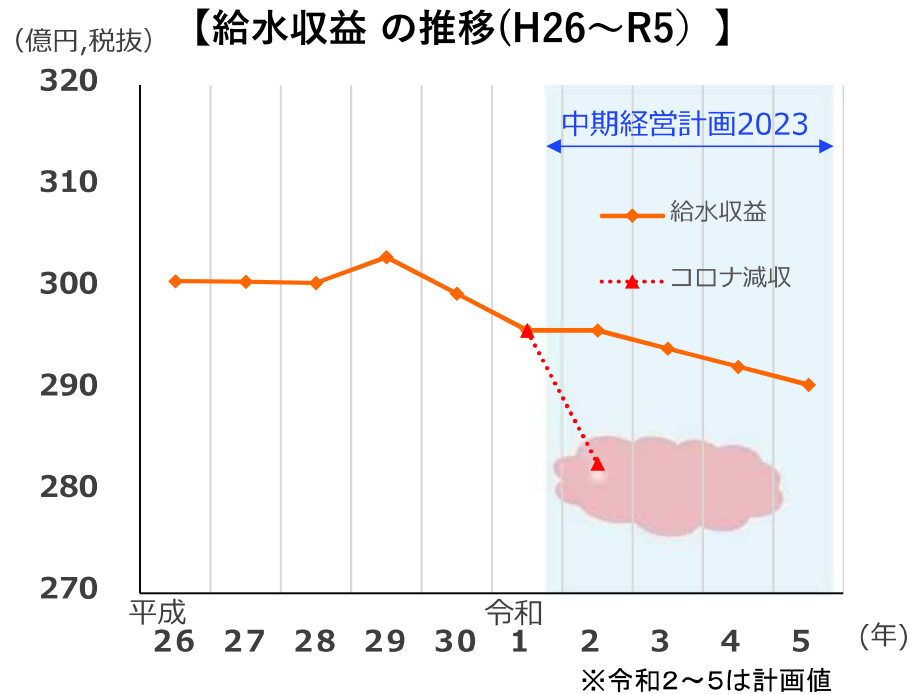
【第3章 経営の持続】

施策	計画	実績
組織・運営体制の見直しの推進	<ul style="list-style-type: none"> 業務の集約や組織再編、委託化の推進による事業運営の効率化・最適化 	<ul style="list-style-type: none"> 執行体制の見直しの推進や全5センターに包括委託を導入するなど委託化の推進
新技術を活用した業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 新技術を活用した業務の効率化にむけた取組み 	<ul style="list-style-type: none"> 工業用水道におけるスマートメーターの共同研究
受水費の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> 阪神水道企業団、兵庫県営水道からの受水費軽減に向けた検討・協議 	<ul style="list-style-type: none"> 阪神水道企業団の受水費負担軽減(負担水準引下げ・二部制導入 R2~) 兵庫県営水道の単価値下げ (R2~)
人材育成と技術の継承	<ul style="list-style-type: none"> 人材の育成・確保 	<ul style="list-style-type: none"> 研修・OJTの実施、研修の拡充・見直し等による人材育成の推進

【第4章 広報とコミュニケーションの充実・強化】

施策	計画	実績
多様な広報・水道サポーターとの協働	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業に興味関心をもつていただくためのイベントを実施 多様な媒体を活用し、多様な機会での情報発信 こうべアクアサポーター制度の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 水道週間イベントや震災イベント等、幅広い世代を対象としたイベントの実施 リーフレット、動画作成、企画の実施 こうべアクアサポーターの事業参画

- ・ 節水型社会の進展や人口減少等による水需要の減少により、長期的には給水収益が減少傾向にある中、今回の**新型コロナウイルス感染症の影響**により**給水収益のさらなる減少**が見込まれている
- ・ 直近の4月～10月の給水収益は、外出自粛や在宅勤務の推進等により、主に家庭に適用される**「一般用」が対前年度比2.0%（+2.3億円）の増加**の一方、休業要請による営業自粛等の影響により、**「業務用」が対前年度比18.2%（▲10.5億円）の減少**となり、**「全体」では4.8%（▲8.3億円）の減少**となっている



新型コロナによる給水収益の減少に対応するため、**中期経営計画2023に掲げた経営改善の取組みを前倒し・追加で実施**

令和元年度 下水道事業会計決算の概要

資料 4

(1) 経営収支(税抜額)

(単位:億円)

項目	区分	令和元年度 決算 (1)	平成30年度 決算 (2)	決 算 対 比		主な増減理由
				差 引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)× 100	
収 益	下水道使用料	186.2	188.3	▲ 2.1	▲ 1.1	有収水量の減 171,596→170,433千㎡ △1,163千㎡ 〔注1〕
	一般会計からの補助金	42.5	43.2	▲ 0.7	▲ 1.6	
	長期前受金戻入	99.7	100.0	▲ 0.3	▲ 0.3	償却対象資産のうち国費相当額等の減による
	その他収益	4.8	4.7	0.1	2.1	
	特別利益	0.2	8.5	▲ 8.3	▲ 97.6	過年度収入の減 1.4→0.2億円 △1.2億円 震災時にカットされていた一般会計補助金繰入の皆減 (△7.1億円)等 〔注2〕
	合 計 (A)	333.4	344.7	▲ 11.3	▲ 3.3	
費 用	維持管理費	90.7	90.4	0.3	0.3	
	人 件 費	23.2	24.1	▲ 0.9	▲ 3.7	
	物 件 費	67.5	66.3	1.2	1.8	
	資 本 費	242.1	244.5	▲ 2.4	▲ 1.0	
	減価償却費等	218.9	219.1	▲ 0.2	▲ 0.1	償却対象資産の減
	支払利息等	23.2	25.4	▲ 2.2	▲ 8.7	平均利率の低下による減 1.76→1.50% (△0.26%) ※市債残高1,432億円
	特別損失	2.8	0.3	2.5	833.3	西部処理場旧消化タンク他撤去工事の皆増 +1.8億円 垂水処理場管路課分室解体撤去工事の皆増 +0.6億円
	合 計 (B)	335.6	335.2	0.4	0.1	
当年度損益(C)=(A)-(B)		▲ 2.2	9.5	▲ 11.7	—	
前年度繰越利益剰余金(D)		20.0	20.0	—	—	
当年度未処分利益剰余金 (E)=(C)+(D)		17.8	29.5	—	—	
利益剰余金処分量(F)		—	▲ 9.5	—	—	
翌年度繰越利益剰余金 (G)=(E)+(F)		17.8	20.0	—	—	

〔注1〕 「下水道使用料」には、民間社会福祉施設等の減免に対する一般会計補助金を含む。

〔注2〕 平成30年度末で全ての返還が完了した。(平成8~10年度カット額153億円)

[参 考 1]

経営収支（税抜額）〔令和元年度予算・決算比較〕

（単位：億円）

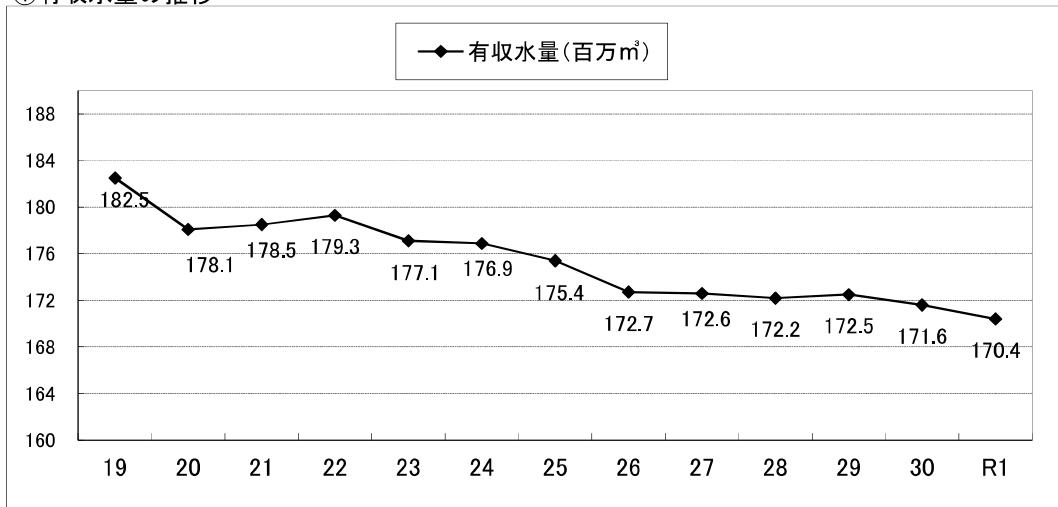
区 分		令和元年度 決算 (1)	令和元年度 予算 (2)	差 引 (3)=(1)-(2)	主な増減理由
項 目					
収 益	下 水 道 使 用 料	186.2	186.8	▲ 0.6	有収水量の減 〔注1〕
	一般会計からの補助金	42.5	44.6	▲ 2.1	一般財源にかかる支出の減による
	長期前受金戻入	99.7	98.8	0.9	減価償却費のうち国庫補助見合いの増
	そ の 他 収 益	4.8	4.6	0.2	
	特 別 利 益	0.2	—	0.2	過年度収入
	合 計 (A)	333.4	334.8	▲ 1.4	
費 用	維 持 管 理 費	90.7	99.0	▲ 8.3	
	人 件 費	23.2	24.6	▲ 1.4	
	物 件 費	67.5	74.4	▲ 6.9	処理場費における光熱水費の減 流域維持管理負担金の減
	資 本 費	242.1	245.2	▲ 3.1	
	減 価 償 却 費 等	218.9	220.1	▲ 1.2	
	支 払 利 息 等	23.2	25.1	▲ 1.9	30年度起債発行額の減 30年度発行利率の減
	特 別 損 失	2.8	5.8	▲ 3.0	工事の遅れによる減〔注2〕
	合 計 (B)	335.6	350.0	▲ 14.4	
当年度損益(C)=(A)-(B)		▲ 2.2	▲ 15.2	13.0	

〔注1〕 「下水道使用料」には、民間社会福祉施設等の減免に対する一般会計補助金を含む。

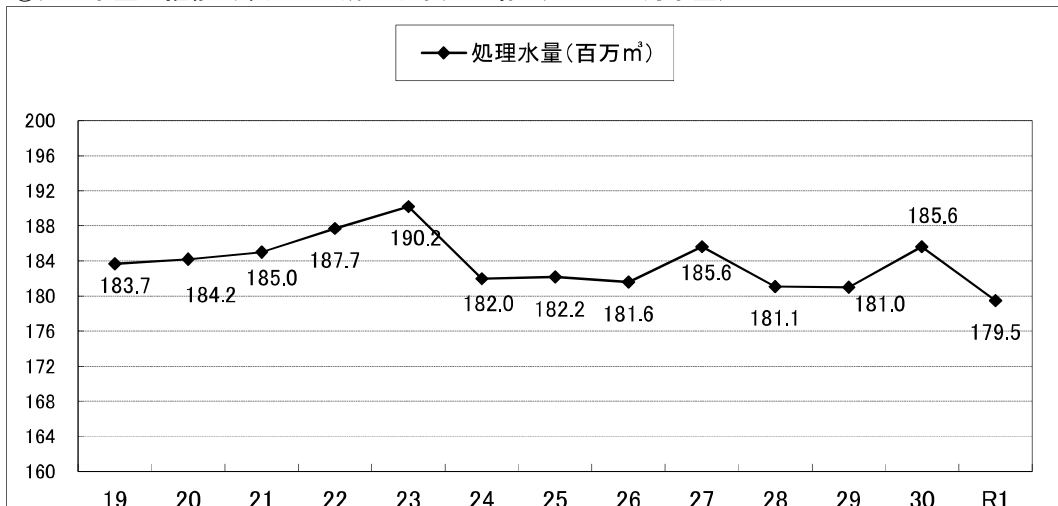
〔注2〕 差引の3億円の減については西部処理場旧消化タンク撤去工事等の工事の遅れによる事故繰越分である。

(2) 業務量の推移

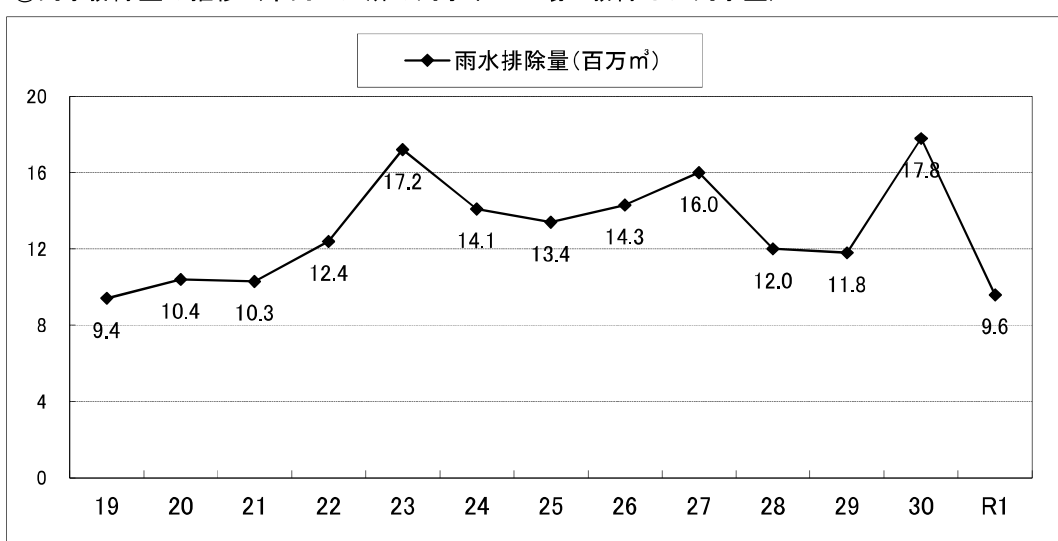
①有収水量の推移



②処理水量の推移（市内6か所の下水処理場で処理した汚水量）



③雨水排除量の推移（市内15か所の雨水ポンプ場で排除した雨水量）



(3) 資本的収支（税込額）

（単位：億円）

項目		区分	令和元年度 決算 (1)	平成30年度 決算 (2)	決算対比	
					差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100
収 入	企業債		113.4	94.6	18.8	19.9
	国庫支出金		44.0	40.5	3.5	8.6
	他会計からの繰入金		3.4	4.8	▲ 1.4	▲ 29.2
	財産収入		0.0	0.0	0.0	0.0
	基金繰入金		9.9	20.1	▲ 10.2	▲ 50.7
	雑収入		0.6	0.9	▲ 0.3	▲ 33.3
	合計 (A)		171.3	160.9	10.4	6.5
支 出	建設改良費		200.0	171.9	28.1	16.3
	処理場建設費		24.4	27.1	▲ 2.7	▲ 10.0
	ポンプ場建設費		14.1	6.9	7.2	104.3
	汚水幹枝線布設費		77.9	69.7	8.2	11.8
	雨水幹枝線布設費		23.8	22.8	1.0	4.4
	流域下水道事業費		2.1	1.8	0.3	16.7
	処理施設等整備費		57.7	43.6	14.1	32.3
	基金への積立金		0.0	0.0	0.0	0.0
	企業債償還金		96.4	119.1	▲ 22.7	▲ 19.1
	合計 (B)		296.4	291.0	5.4	1.9
収支差引(C) = (A) - (B)			▲ 125.1	▲ 130.1	5.0	—

〔注〕資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額125.1億円は、損益勘定留保資金等で補てんした。

[参 考 2]

令和元年度末神戸市下水道事業会計貸借対照表

(単位：百万円)

借 方		貸 方	
資 産 の 部		負 債 の 部	
固 定 資 産 601,037		固 定 負 債 134,632	
有 形 固 定 資 産 592,988		企 業 債 131,953	
土 地 55,110		引 当 金 2,455	
建 物 49,393		そ の 他 固 定 負 債 224	
建 物 付 属 設 備 8,342		流 動 負 債 21,426	
構 築 物 827,096		企 業 債 11,243	
機 械 及 び 装 置 172,990		未 払 金 9,922	
車 両 運 搬 具 139		預 り 金 等 17	
工 具 器 具 及 び 備 品 2,685		引 当 金 244	
建 設 仮 勘 定 20,349		繰 延 収 益 215,758	
減 価 償 却 累 計 額 ▲543,116		長 期 前 受 金 488,187	
無 形 固 定 資 産 1,824		収 益 化 累 計 額 ▲272,429	
地 上 権 40		資 本 の 部	
施 設 利 用 権 1,777		資 本 金 118,261	
電 話 加 入 権 7		自 己 資 本 金 118,261	
投 資 6,225		剰 余 金 148,330	
基 金 6,079		資 本 剰 余 金 143,884	
敷 金 7		国 庫 補 助 金 48,188	
出 え ん 金 138		他 会 計 繰 入 金 20	
そ の 他 投 資 1		工 事 負 担 金 71,063	
破 産 更 生 債 権 等 28		受 贈 財 産 評 価 額 998	
貸 倒 引 当 金 ▲28		そ の 他 資 本 剰 余 金 23,615	
流 動 資 産 37,370		利 益 剰 余 金 4,446	
現 金 預 金 31,537		建 設 改 良 積 立 金 2,669	
未 収 金 5,810		未 処 分 利 益 剰 余 金 1,777	
貯 蔵 品 21			
そ の 他 流 動 資 産 2			
合 計 638,407		合 計 638,407	

指標の達成状況

計画期間 5 カ年のうち、4 カ年目にあたる令和元年度末における進捗状況を下表に示す。

基本方針	施策	指標	平成 27 年度末	令和 元年度末	令和 2 年度末 (目標)	備考
安心で快適な市民生活と社会活動を支えます。	膨大なストックの改築更新	污水管きよの再構築(耐震化)済みエリア内の昼間人口	15 万人	26 万人 (+4 万人) 事業実施中	33 万人	⇒今後も事業継続 進捗率 61% (R2 末見込: 33 万人)
		処理場の改築更新率	20.5%	20.5% (+0%) 事業実施中	33.1%	⇒今後も事業継続 ※当初の目標 (東灘(本場) → 東灘(本場) 垂水(東系) → 垂水(東系)増設 西部(北系) (算出式) 改築済の施設能力 (m ³ /日) 施設の現有能力 (m ³ /日)
	改築に併せた施設の耐震化	地震時にも必要最低限の機能が確保されている処理場	1 処理場	2 処理場 (+0) 事業実施中	3 処理場	⇒今後も事業継続 ※当初の目標 (垂水(東系) → 垂水(東系)増設 西部(北系) 玉津 ※必要最低限の機能: 揚排水・簡易沈殿 ・消毒機能
浸水に強い安全なまちづくりを進めます。	浸水対策事業の促進	計画期間中に整備する排水区域面積	—	51.5ha (+ 30.1ha) 事業実施中	130ha	⇒今後も事業継続 進捗率 40% (R2 末見込: 108.0ha)
	改築に併せた施設の能力増強	雨水管きよの改修延長	—	18.4km (+5.3km) 事業実施中*	25km	⇒今後も事業継続 進捗率 74% (R2 末見込: 24.4km) ※5 年間で目標達成見込み
健全な水環境と循環型社会の実現に貢献します。	高度処理の導入	高度処理を実施している処理場	24.5%	18.5% (-6.0%) 事業実施中*	36.7%	⇒今後も事業継続 ※当初の目標 (PI → PI ・鈴蘭台 → ・鈴蘭台 ・玉津 → ・玉津 ・垂水(東系) → ・垂水(東系) ・東灘(分場) → ・東灘(分場) ・西部(北系) (算出式) 高度処理を実施済の施設能力 (m ³ /日) 施設の現有能力 (m ³ /日)
	資源・エネルギーの有効活用	消化ガス有効利用率	70%	86% (+1%)	84%	⇒目標を達成(平成 30 年度以降) (東灘 → 東灘 垂水 → 垂水 西部 → 西部 玉津 → 玉津)
	CO ₂ 削減の取り組み	下水道事業に係る電力使用量	89,200 (千 kWh/年)	86,250 (千 kWh/年) (-311 (千 kWh/年))	82,600 (千 kWh/年)	⇒今後も取組みを継続 (H27⇒R1: 2,950 千 kWh の削減) 省エネ機器、バイオガス発電などの創エネ技術の導入を図ることで電力使用量を削減
持続可能な下水道サービスを提供します。	経営基盤の強化	単年度収支		▲2.2 億円	単年度収支の均衡	H28: +12.5 億円 H29: +22.7 億円 H30: +9.5 億円

アクアプラン2015計画期間 ← こうべアクアプラン2020計画期間

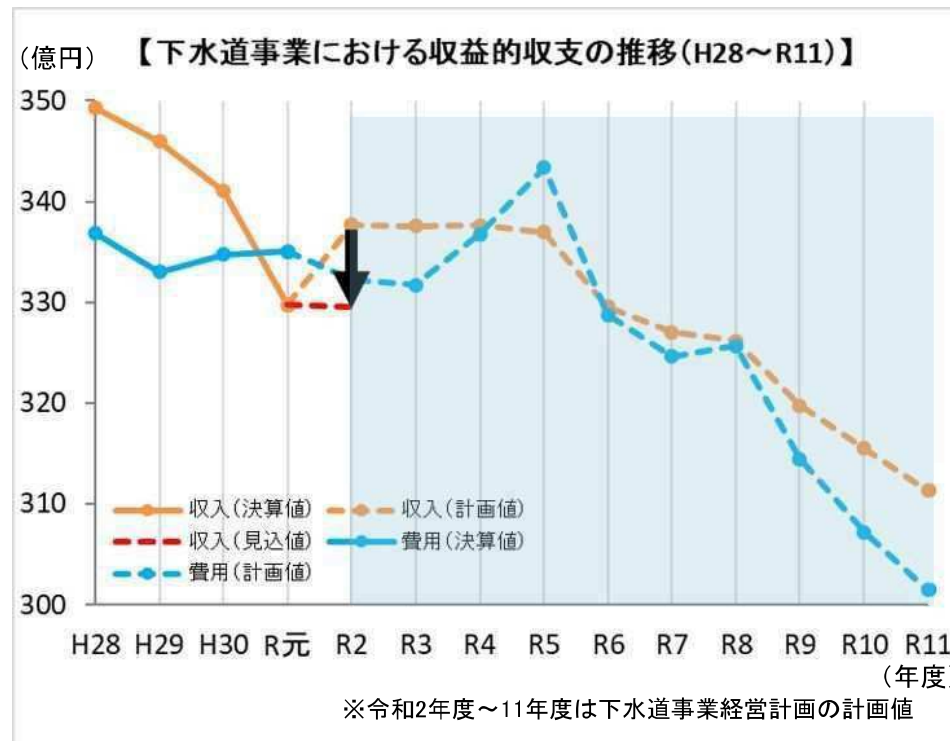
神戸市下水道事業経営計画

【参考】「こうべアクアプラン2020」主要事業スケジュール

基本方針	施策	主要事業	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2025	2025	2025	2025	
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
安心で快適な市民生活と社会活動を支えます。	膨大なストックの改築更新	污水管きよの改築更新	125km / 5年					225km / 5年					450km / 10年									
		西部処理場の改築更新	北系										南系									
		垂水処理場の整備	東系(設備)																			
		ポートアイランド処理場の改築更新	ポートアイランド処理場の改築更新																			
		東灘処理場の改築更新	分場・最初沈殿池																			
		その他施設の改築更新	処理場・ポンプ場 設備の改築更新																			
	改築に併せた施設の耐震化	下水道施設の耐震化	管きよ・処理場・ポンプ場の耐震化																			
浸水に強い安全なまちづくりを進めます。	浸水対策事業の促進 改築に併せた施設の能力増強	西河原地区の浸水対策	雨水幹線・ポンプ場の整備																			
		三宮南地区の浸水対策	中突堤ポンプ場・小野浜ポンプ場・雨水幹線の整備																			
		長田南部地区の浸水対策	南駒栄ポンプ場・遮集幹線・雨水幹線の整備																			
		和田岬地区の浸水対策	雨水幹線の整備																			
		魚崎ポンプ場の改築更新	第1期										第2期									
		神戸駅周辺地区の浸水対策	東川崎地区(ポンプ場・雨水幹線の整備)																			
		市街地の浸水対策	雨水幹線等の整備																			
健全な水環境と循環型社会の実現に貢献します。	資源の有効利用	こうべバイオガスの有効利用	有効利用の促進 ※H28年度から西部処理場、H30年度から玉津処理場でバイオガス発電開始																			
		こうべ再生リンの有効利用	実証試験、市内農業による有効利用拡大																			
市民に見える下水道を目指します。	広報プロモーションの充実 水・インフラ支援による国際貢献	水環境フェア、アクアサポーター制度の実施、国際貢献	体験型広報の実施、効果的な広報プロモーションの展開																			
持続可能な下水道サービスを提供します。	経営基盤の強化	跡地活用による収入確保	跡地活用																			
関連計画の目標年次			大阪湾流域別下水道整備総合計画																			
			神戸づくりの指針(市マスタープラン)																			
			神戸2015ビジョン									神戸2020ビジョン										
			神戸市行財政改革2015									神戸市行財政改革2020										
			新・環境基本計画																			
			第7次水質総量規制																			

新型コロナウイルス感染症の下水道事業への影響について 資料6

- 人口減少や節水型社会の進展等による有収水量の減少により、中長期的には下水道使用料収入が減少傾向にある中、今回の**新型コロナウイルス感染症の影響**により**さらなる減少**が見込まれている。
- 今年度4月～10月の有収水量は**対前年度比0.6%減少**し、使用料収入は**0.07% (約7百万円) の減少**となっているが、令和2年4月の使用料改定による増額分(約5億円)を除くと、**対前年度比4.7% (5.1億円) の減少**となっている。



新型コロナの影響による下水道使用料の減収への対応

新技術の積極導入や省エネ機器の更新前倒し等で維持管理費の軽減を図っていく